# 発注者用調査票の解説

■共通費実態調査にあたって

本調査は、受注者による営繕工事の実施状況を費用の面から把握することにより、営繕工事における工事費積算に用いる「公共建築工事共通費積算基準」のより一層の適正化をはかるため実施するものです。

調査は、共通仮設費及び現場管理費の実態を調査するもので、調査の分析結果を基に「公共建築工事共通費積算基準」妥当性の確認又は改定を行うこととしております。

入力していただいた調査票は、調査の目的以外には使用することはありません。

■使用する調査票について

・新築又は増築工事の場合・・・新営工事用

・改修工事の場合・・・・・・・改修工事用

・解体工事の場合・・・・・・・新営工事用

※新築又は増築工事に既存棟の改修が含まれる場合、新営（新築）工事用の調査票に入力お願いします。

■入力時の注意事項

工期・契約金額等の再確認をお願いします。また、受注者調査票もご確認いただき、発注者用と受注者用が整合していることをご確認いただきますようお願いいたします。

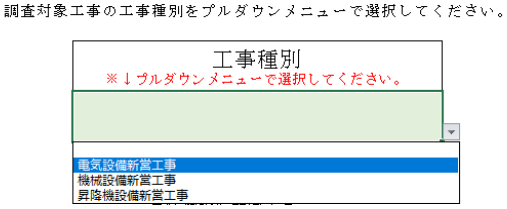
※調査要領をご確認いただき、本解説及び入力参考例も参考に調査票の記入をお願いいたします。

◆発注者入力用の調査票

発注者入力用の調査票の種類及びファイル形式は、エクセルを用いて建築工事系と設備工事系、更に新営（新築）工事用と改修工事用に分類した４種類のファイルで作成しています。

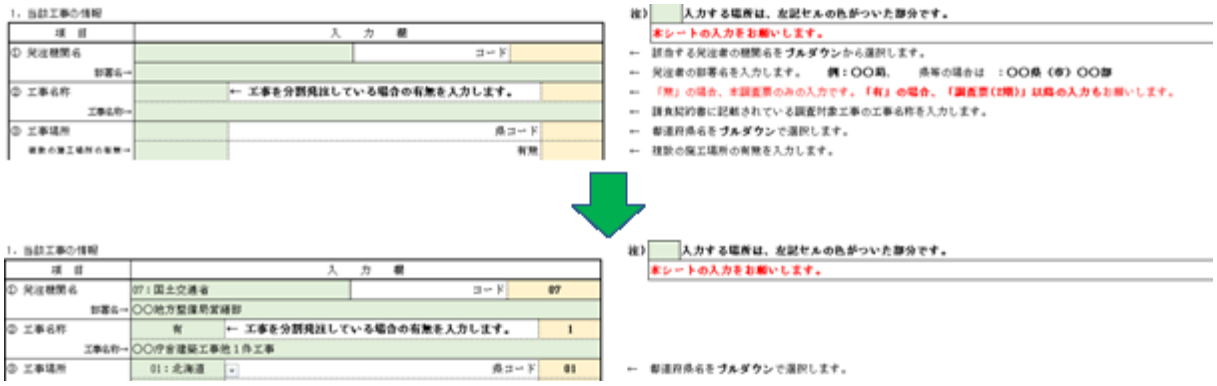
なお、設備工事系は、電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事を兼用したファイルとしています。シート名が「表紙･目次」において工事の種別を指定することにより、ファイル自体がそれぞれの工事種別専用の調査票になるようにしています。

シート名：表紙･目次



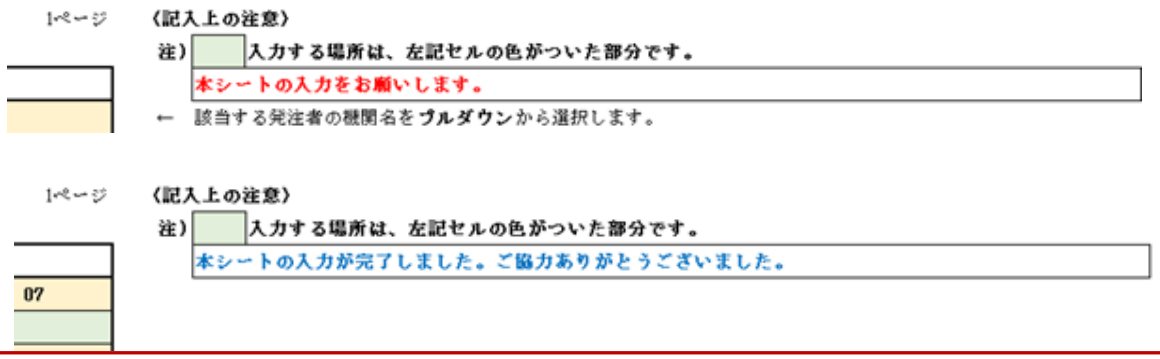

データの入力場所は「緑色に塗りつぶされたセル」とし、指定されたセルにデータを入力するとシート右にある入力説明文が順次消えていきます。

シート名：調査票(1 期主)から調査票(3 期従)共通




入力した情報の間に不整合がなく入力が完了し場合は「本シートの入力が完了しました。ご協力ありがとうございました。」と青文字表記に変わり、入力終了の確認ができます。

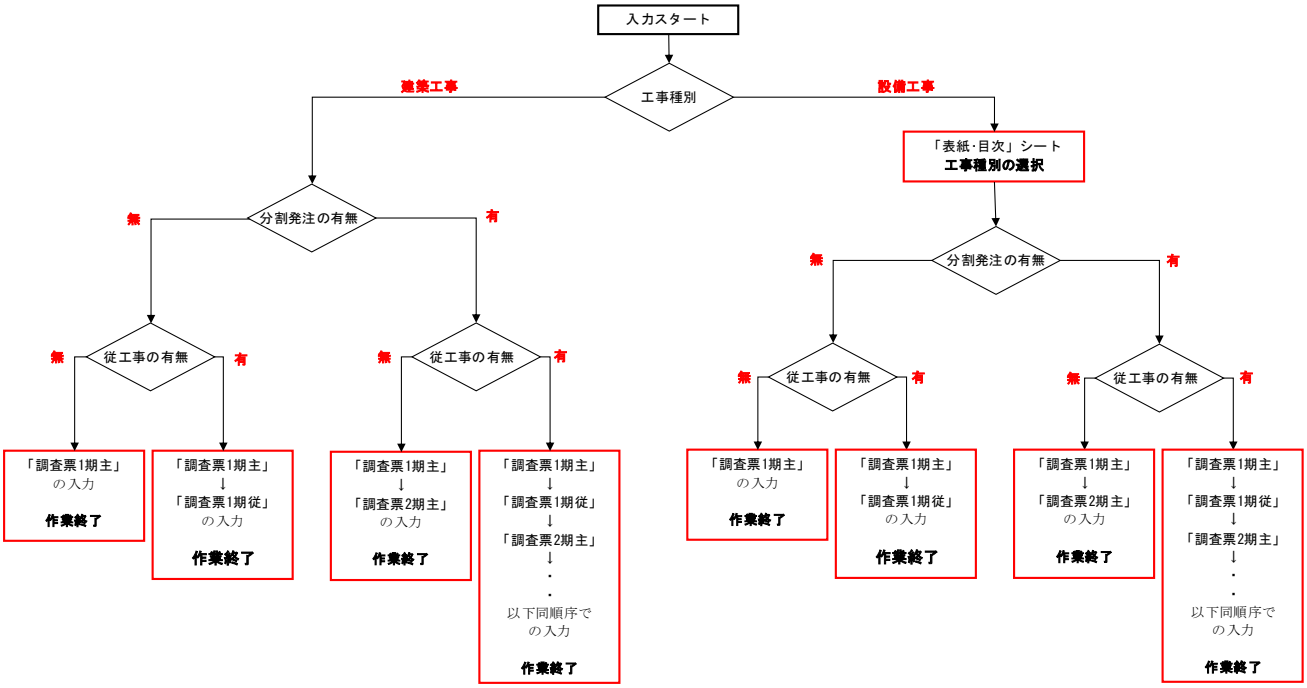
シート名：調査票(1 期主)から調査票(3 期従)共通




なお、ブックは保護していませんので「調査票(1 期従)」及び「調査票(3 期主)」をシートコピーにより「調査票(1 期従 2)」や「調査票(4 期主)」を作成しデータ入力が可能です。

（1）作業の手順等

調査票の入力手順は、シート名「調査票１期主」から始めます。但し、設備系の工事は、シート名「表紙･目次」において工事の種別（電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事の別）をプルダウンメニューで選択した後になります。全体の作業手順は以下のフロー図のようになります。




なお、１期、２期工事とは、一つの建物等の工事（新築及び改修工事）を「躯体と仕上げ」等と工事を分離分割し別々に発注した場合のことで、二つ（以上）の工事で一つの工事の目的を達成することになります。最初に発注した工事を「1 期」とし、その後発注した工事の順番に「2 期」「3 期」と扱うこととしています。

また、従工事とは、本来別々の工事として発注すべき異なる敷地にあるそれぞれの建物等の工事（新築及び改修工事）等を一つの工事として発注した場のことで、工事名称等に用いた施設を「主」とし、その他の施設を「従」として取り扱います。

## ０１ 工事全般に関する事項

### 1. 当該工事の情報に関する事項

① **発注機関名**　：　プルダウンメニューから選択します。

部署名→　：　工事発注者が所属している部署名を入力します。

② **工事名称**　：　契約書記載の工事名称を入力します。また「**工事を分割発注**」している場合の有無をプルダウンメニューから選択します。「有」を選択した場合「調査票(2 期主)」が入力対象になります。

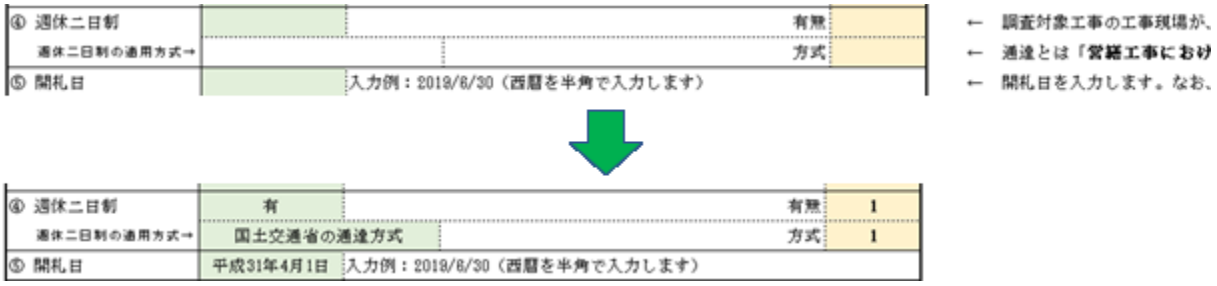
シート名：調査票(2 期主)

③ **工事場所**　：　都道府県名をプルダウンメニューから選択します。また「**複数の施工場所**」の有無をプルダウンメニューから選択します。「有」を選択した場合「調査票(1 期従)」が入力対象になります。なお、「調査票（1 期主)」と同じ内容項目は自動入力されます。

シート名：調査票(1 期従)

④ **週休二日制**　：　**工事現場で週休二日制実施の有無を**プルダウンメニューから選択します。「有」を選択した場合、入力箇所「週休二日制の適用方式」が増えます。

シート名：調査票(1 期主)




⑤ **開札日**　：　開札日を入力します。西暦による数値半角とします。(例：2019/10/10)

⑥ **当初予定価格等**：　当該工事発注時の予定価格（設計価格）を税抜き価格として入力します。「当初落札価格」及び「最終契約額」も税抜き価格を入力します。なお、入力した当初予定価格と当初契約額に整合性がない場合には赤文字に変化します。

シート名：調査票(1 期主)主シート共通

⑦ **数量公開の方式**：　工事の発注時に発注者数量（金抜き内訳書等）の公開方式をプルダウンメニューから選択します。

⑧ **設計価格公開の方式**：　予定価格（設計価格）の公開方式をプルダウンメニューから選択します。

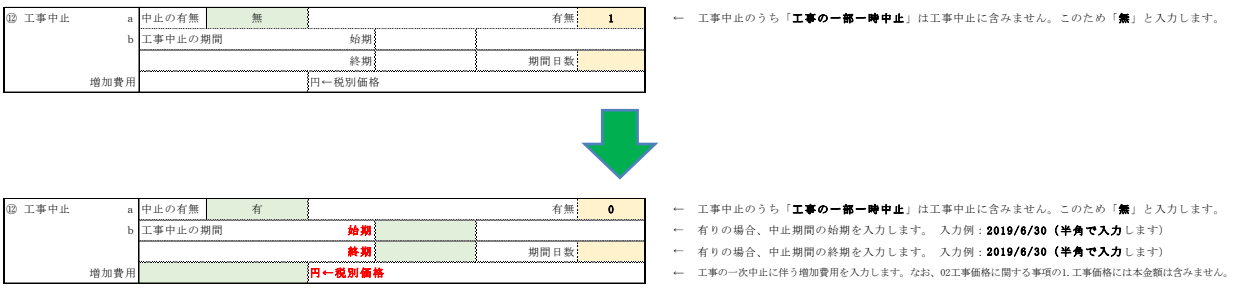
⑨ **前払金**　：　前払金（中間前払いを除く）の割合を整数として入力します。

⑩ **受注者名**　：　契約書記載の受注者の法人名を入力します。代表者名は不要です。

⑪ **工期**　：　当初契約時の工期期首及び工期末を入力します。余裕工期等の場合は実工期を入力します。契約工期に変更があった場合は「最終　工期末」に最終の工期末を入力します。

⑫ **工事中止**　：　工事中止（工事の一部一時中止は含まない）の有無をプルダウンメニューから選択します。「有」を選択した場合、入力箇所が増え工事中止の「始期」と「終期」及び「増加費用」を入力します。

シート名：調査票(1 期主)主シート共通



⑭ **建物概要**　　：　建物種別及び構造種別をプルダウンメニューから選択、地上階数(階)、地下階数(階)及び延床面積㎡は整数入力とし、全ての項目について入力してください。「2. 直接工事費」の「①主要建物」及び「3. 主要建物の科目内訳」において、入力すべき項目部分が「緑色のセル」にそれぞれ変化します。

シート名：調査票(1 期主)

⑭ 建物概要

| | 建物種別 | | 構造種別 | | 地上階数(階) | 地下階数(階) | 延床面積㎡ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 建物1 | 01:庁舎等 | 01 | 01:RC 造 | 01 | 2 | 0 | 500 |
| 建物2 | 10:倉庫等 | 10 | 03:S 造 | 03 | 1 | 0 | 20 |
| 建物3 | | | | | | | |
| 建物4 | | | | | | | |

⑭ 建物概要にデータを入力すると以下のように入力箇所が以下のように変化します。

なお、2 期工事がある場合は「調査票（2 期主)」へ自動入力されます。このため、建物 2 が「調査票（1 期主)」で完成されている場合、建物 2 の入力該当箇所に全て「0」を入力してください。また、「調査票（2 期主)」で新たに建物が追加される場合には、建物概要の「建物 3」から入力してください。

## ０２ 工事価格等に関する事項

### 1. 工事価格

① **直接工事費**　　：　変更契約を含めた直接工事費の額を入力します。従工事及び下記また以降の記載事項の額は含まない。
また、直接工事費の二行目には、受注者選択による週休二日制達成時の増額した直接工事費の額を入力します。該当しない場合は「0」とします。

② **共通仮設費**　　：　従工事がある場合は、従工事の共通仮設費を含めた工事全体の額を入力します。このため、従工事には入力しません。
なお、「③ 現場管理費」及び「④ 一般管理費等」も同様とします。

⑦**その他特殊経費**　：　試行工事等の特別な経費を積上げ計上した額及びその内容を入力します。
新しい施策等、一般的な公共建築工事には含まれない内容を計上した場合の為の入力欄となります。　入力が必要な工事の場合、受注者にも指示願います。

## 2. 直接工事費

**① 造園工事**　　：　上段入力箇所は、造園工事（屋上緑化工事を含める）の総額を入力してください。

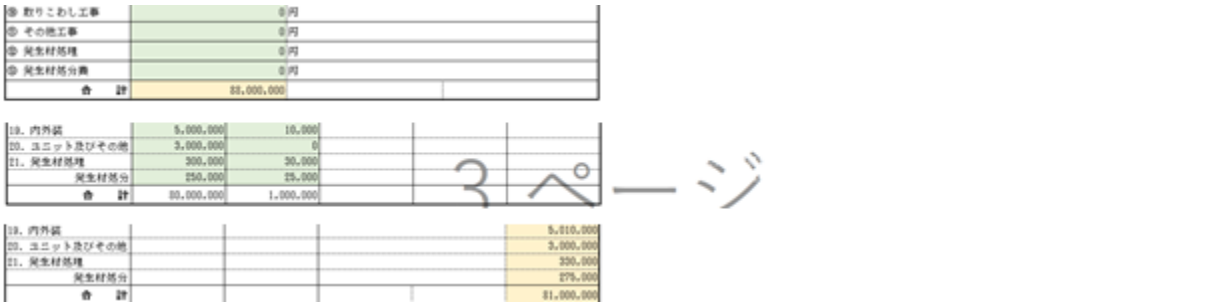
※ このページでは、1. 工事価格の「①直接工事費」と「2. 直接工事費」の合計額が一致値しない場合、一致していないことと修正をお願いする注意喚起が表示されます。一致した場合や修正し一致した場合には注意喚起は表示されません。また、「3. 主要建物の科目内訳」も前記同様「「3. 主要建物の科目内訳」の合計額と「2. 直接工事費」の「①主要建物」の合計額が不一致」と注意喚起が表示されます。

シート名：調査票(1 期主)各シート共通

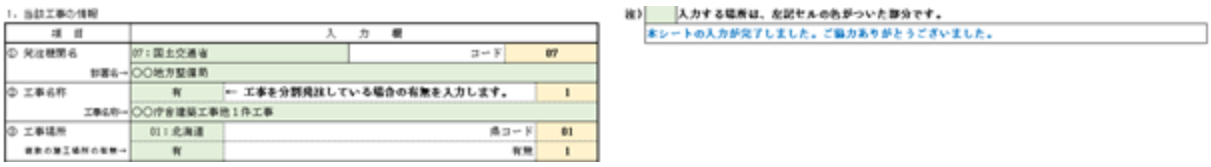
「3. 主要建物の科目内訳」の表示

※ 全ての入力が終了し、前記の様な不一致箇所もない場合には、シート入力が終了したことが表示され、右半分の入力説明文が全て消えます。

シート名：調査票(1 期主)各シート共通



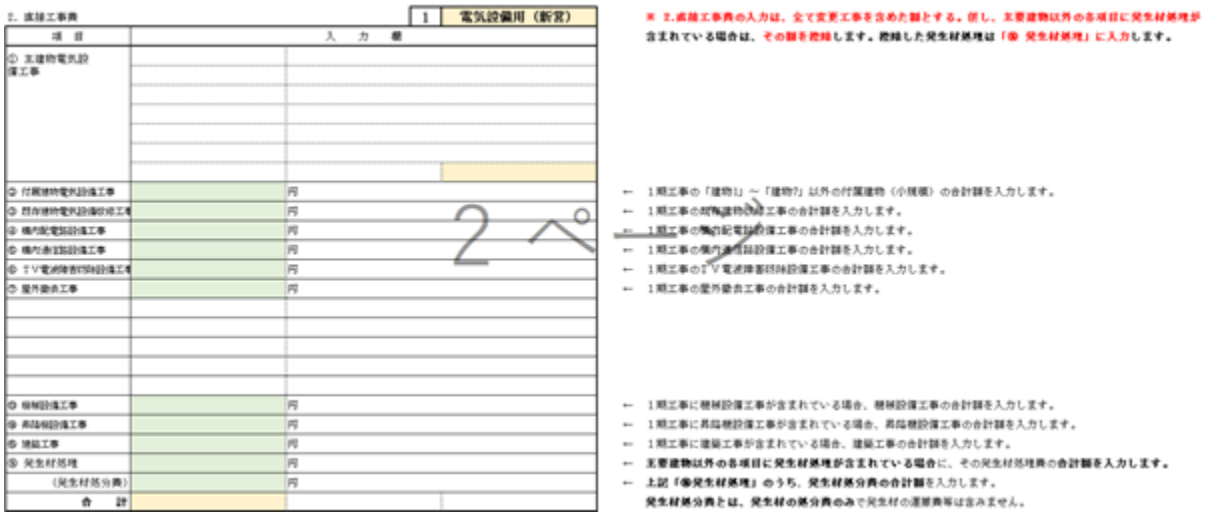
１ページ目にも表示されます。



## 設備工事調査票のみに関する事項

設備工事の調査票は、電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事兼用となっています。このため、「調査票（１期主)」入力作業前に、シート名の「表紙･目次」において、該当する工事種別をプルダウンメニューで選択してください。選択することにより、「調査票（１期主)」以下のシートが選択した工事種別専用のシートになります。

## 電気設備工事を選択（2 及び 3 ページ）



機械設備工事を選択（2 及び 3 ページ）

2. 直接工事費　　2　機械設備用（新営）

| 項　目 | 入　力　欄 | | |
|---|---|---|---|
| ① 主建物機械設備工事 | | | |
| ② 付属建物機械設備工事 | | 円 | |
| ③ 既存建物機械設備改修工事 | | 円 | |
| ④ 屋外給水設備工事 | | 円 | |
| ⑤ 屋外排水設備工事 | | 円 | |
| ⑥ 屋外ガス設備工事 | | 円 | |
| ⑦ 屋外厨房工事 | | 円 | |
| ⑧ さく井設備 | | 円 | |
| ⑨ 浄化槽設備(現場施工型) | | 円 | |
| ⑩ 浄化槽設備(ユニット型) | | 円 | |
| ⑪ 機械式駐車設備 | | 円 | |
| ⑫ 電気設備工事 | | 円 | |
| | | | |
| ⑬ 昇降機設備工事 | | 円 | |
| ⑭ 建築工事 | | 円 | |
| ⑮ 発生材処理 | | 円 | |
| （発生材処分費） | | 円 | |
| 合　計 | | | |

※ 2.直接工事費の入力は、全て変更工事を含めた額とする。但し、主要建物以外の各項目に発生材処理が含まれている場合は、その額を控除します。控除した発生材処理は「⑮ 発生材処理」に入力します。

← 1期工事の「建物1」～「建物7」以外の付属建物（小規模）の合計額を入力します。
← 1期工事の既存建物改修工事の合計額を入力します。
← 1期工事の屋外給水設備工事の合計額を入力します。
← 1期工事の屋外排水設備工事の合計額を入力します。
← 1期工事の屋外ガス設備工事の合計額を入力します。
← 1期工事の屋外厨房工事の合計額を入力します。
← 1期工事のさく井設備の合計額を入力します。
← 1期工事の浄化槽設備(現場施工型)の合計額を入力します。
← 1期工事の浄化槽設備(ユニット型)の合計額を入力します。
← 1期工事の機械式駐車設備の合計額を入力します。
← 1期工事に電気設備工事が含まれている場合、電気設備工事の合計額を入力します。

← 1期工事に昇降機設備工事が含まれている場合、昇降機設備工事の合計額を入力します。
← 1期工事に建築工事が含まれている場合、建築工事の合計額を入力します。
← **主要建物以外の各項目に発生材処理が含まれている場合**に、その発生材処理費の**合計額を入力します。**
← **上記「⑮発生材処理」のうち、発生材処分費の合計額**を入力します。
**発生材処分費とは、発生材の処分費のみ**で発生材の運搬費等は含みません。

3. 主要建物の科目内訳　　2　機械設備用（新営）

| 項　目 | 入　力　欄 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **機械設備工事** | | | | | |
| 1.空気調和設備 | | | | | |
| 2.換気設備 | | | | | |
| 3.排煙設備 | | | | | |
| 4.自動制御設備 | | | | | |
| 5.衛生器具設備 | | | | | |
| 6.給水設備 | | | | | |
| 7.排水設備 | | | | | |
| 8.給湯設備 | | | | | |
| 9.消火設備 | | | | | |
| 10.ｶﾞｽ設備 | | | | | |
| 11.厨房機器設備 | | | | | |
| 12.雨水利用設備 | | | | | |
| 13.特殊空調設備(恒温恒湿ｸﾘｰﾝﾙｰﾑ等) | | | | | |
| 14.循環ろ過設備(浴室､ﾌﾟｰﾙ等) | | | | | |
| 15.排水処理設備(厨房排水除害設備､腐水処理設備等) | | | | | |
| 16.ごみ処理設備 | | | | | |
| 17.厨房設備 | | | | | |
| 18.機械式駐車設備 | | | | | |
| 19.特殊ｶﾞｽ設備(医療用ｶﾞｽ設 | | | | | |
| 20.実験機器(実験台､実験流し | | | | | |
| 21.医療器具設備(手術台､歯科 | | | | | |
| 22.その他の特殊な設備 | | | | | |
| 23. 撤去工事 | | | | | |
| 24. 発生材処理 | | | | | |
| （発生材処分費） | | | | | |
| 合　計 | | | | | |

注）　入力する場所は、左記セルの色がついた部分です。
※ 3.主要建物の科目内訳の入力は、全て変更工事を含めた額とする。
**入力の対象は、「1期工事」のみです。**

← 主建物ごとに変更工事を含めた「 1.空気調和設備 」の合計額を入力します。
← 主建物ごとに変更工事を含めた「 2.換気設備」の合計額を入力します。
← 主建物ごとに変更工事を含めた「 3.排煙設備」の合計額を入力します。
← 主建物ごとに変更工事を含めた「 4.自動制御設備」の合計額を入力します。
← 主建物ごとに変更工事を含めた「 5.衛生器具設備」の合計額を入力します。
← 主建物ごとに変更工事を含めた「 6.給水設備」の合計額を入力します。
← 主建物ごとに変更工事を含めた「 7.排水設備」の合計額を入力します。
← 主建物ごとに変更工事を含めた「 8.給湯設備」の合計額を入力します。
← 主建物ごとに変更工事を含めた「 9.消火設備」の合計額を入力します。
← 主建物ごとに変更工事を含めた「10.ｶﾞｽ設備」の合計額を入力します。
← 主建物ごとに変更工事を含めた「11.厨房機器設備」の合計額を入力します。
← 主建物ごとに変更工事を含めた「12.雨水利用設備」の合計額を入力します。
← 主建物ごとに変更工事を含めた「13.特殊空調設備(恒温恒湿ｸﾘｰﾝﾙｰﾑ等)」の合計額を入力します。
← 主建物ごとに変更工事を含めた「14.循環ろ過設備(浴室､ﾌﾟｰﾙ等)」の合計額を入力します。
← 主建物ごとに変更工事を含めた「15.排水処理設備(厨房排水除害設備､腐水処理設備等)」の合計額を入力します。
← 主建物ごとに変更工事を含めた「16.ごみ処理設備」の合計額を入力します。
← 主建物ごとに変更工事を含めた「17.厨房設備」の合計額を入力します。
← 主建物ごとに変更工事を含めた「18.機械式駐車設備」の合計額を入力します。
← 主建物ごとに変更工事を含めた「19.特殊ｶﾞｽ設備(医療用ｶﾞｽ設備､実験用ｶﾞｽ設備等)」の合計額を入力します。
← 主建物ごとに変更工事を含めた「20.実験機器(実験台､実験流し､ﾄﾞﾗﾌﾄﾁｬﾝﾊﾞｰ､ｽﾃﾑﾁｬﾝﾊﾞｰ等)」の合計額を入力します。
← 主建物ごとに変更工事を含めた「21.医療器具設備(手術台､歯科用椅子等)」の合計額を入力します。
← 主建物ごとに変更工事を含めた「22.その他の特殊な設備」の合計額を入力します。
← 主建物ごとに変更工事を含めた「23. 撤去工事」の合計額を入力します。
← 主建物ごとに変更工事を含めた「24. 発生材処理」の合計額を入力します。
← 上記「24. 発生材処理」のうち「(発生材処分費)」の合計額を入力します。但し、発生材の運搬費は除きます

昇降機設備工事を選択（2 及び 3 ページ）

2. 直接工事費　　3　昇降機設備用（新営）

| 項　目 | 入　力　欄 | |
|---|---|---|
| ① 昇降機設備工事 | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| ② 昇降機設備改修工事 | | 円 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| ③ 電気設備工事 | | 円 |
| ④ 機械設備工事 | | 円 |
| | | |
| ⑤ 建築工事 | | 円 |
| ⑥ 発生材処理 | | 円 |
| （発生材処分費） | | 円 |
| 合　計 | | |

※ 2.直接工事費の入力は、全て変更工事を含めた額とする。但し、主要建物以外の各項目に発生材処理が含まれている場合は、その額を控除します。控除した発生材処理は「⑥ 発生材処理」に入力します。

← 1期工事の機械昇降機設備改修工事の合計額を入力します。

2ページ

← 1期工事に電気設備工事が含まれている場合、電気設備工事の合計額を入力します。
← 1期工事に機械設備工事が含まれている場合、機械設備工事の合計額を入力します。

← 1期工事に建築工事が含まれている場合、建築工事の合計額を入力します。
← 主要建物以外の各項目に発生材処理が含まれている場合に、その発生材処理費の合計額を入力します。
← 上記「⑥発生材処理」のうち、発生材処分費の合計額を入力します。
発生材処分費とは、発生材の処分費のみで発生材の運搬費等は含みません。

3. 主要建物の科目内訳　　3　昇降機設備用（新営）

| 項　目 | 入　力　欄 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 昇降機設備工事 | | | | | |
| 1.ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ設備 | | | | | |
| 2.小荷物専用昇降機設備 | | | | | |
| 3.ｴｽｶﾚｰﾀｰ設備 | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
|